

五十四の瞳

●作……鄭義信 ●演出……松本祐子

あらすじ

舞台は戦後間もないころの瀬戸内海に浮かぶ小さな島。採石業が唯一の産業であるこの島には学校が一つしかなく、それは朝鮮人学校であった。柳仁哲(ユ・インチョル)と新しく赴任した何やら訳ありな女性教師、康春花(カン・チュンファ)の下、日本人も朝鮮人も分け隔てなく学んでいた。しかしある日、占領軍(GHQ)が全国の朝鮮人学校閉鎖を宣言する。これに対し大阪や神戸で大規模な抗議デモが巻き起こった。このままでは俺たちの学校もなくなってしまう！少年たちは神戸の抗議デモに参加するため、親や先生に内緒で島を飛び出していくのだった…。

●出演



●スタッフ

| | | | |
|-----------|-------|-----------|--------|
| 美術…………… | 乗峯雅寛 | 演出補…………… | 的早孝起 |
| 照明…………… | 賀澤礼子 | 制作…………… | 友谷達之 |
| 音楽…………… | 芳垣安洋 | | 最首志麻子 |
| | 高良久美子 | | 白田 聡 |
| 音響…………… | 丸田裕也 | 宣伝美術…………… | 伊波二郎 |
| 衣裳…………… | 宮本宣子 | | (イラスト) |
| 舞台監督…………… | 岡野浩之 | | 小田善久 |
| | | | (デザイン) |

優しく痛い鄭さんの言葉…鄭義信さんの紡ぐ言葉は、「ひらがな」な肌触りの言葉です。ごつごつした概念ではなく、誰でもが日常に感じるささやかな喜びや痛みがやわらかな言葉です。うっと身体の中に心の中に入って来ます。でもそれは同時に、激しい怒りを伴ったひりひりした言葉です。それはうっと入って来るからこそ、一層、痛いのです。いつもその言葉に震えさせられます。今回の舞台は島の学校、言葉を教える場所が物語の中心になります。「言葉という、その人を形づくる大切なものについて、鄭義信さんの優しく痛い言葉が語る。」そんな物語を共に作り上げたいと思っています。 松本祐子

令和2年(2020年)11月18日(水) 19:00開演 (18:30開場)

八尾プリズム小ホール (八尾市文化会館)



全席指定・税込 一般 4,200円 (当日300円増) / フレッシュシート²⁵ (25歳以下) 1,000円

障がいのある方とその介添の方 (1名様まで) 3,600円 (当日300円増)

※25歳以下・障がい者割引チケットご購入の際は証明書(学生証・障がい者手帳など)をご提示ください

大阪フィルハーモニー交響楽団八尾演奏会(2021年2月7日)とのセット券 6,700円

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>10月4日(日) am10:00~ プリズムクラブ(友の会) 先行発売</p> | <p>10月11日(日) am10:00~ 一般前売発売</p> | <p>チケットのお求め・お問合せ プリズムホール チケットカウンター 072-924-9999 (月曜休館 祝祭日の場合は翌平日 9:00~19:00)</p> | <p>プリズムホール ウェブサイトチケット https://prismhall.jp/ お席をお選びいただけます! ※公演3日前まで</p> |
| <p>●ローソンチケット [Lコード:53184] https://l-tike.com/</p> | | <p>●E+(イープラス) https://eplus.jp</p> | |
| <p>●チケットぴあ 0570-02-9999 https://t.pia.jp [Pコード:502-997]</p> | | | |

『五十四の瞳』主演の松岡依都美が朗読会に登場!

まちで魅了する舞台
「旧家で楽しむ向田邦子の世界」

12月6日(日) 11:30~
会場:安中新田会所跡旧植田家住宅 (八尾市植松町1-1-25)

鑑賞のみ1,500円他、お弁当・まち歩きセット料金あり。配信あり

向田邦子の「父の詫び状」などを朗読します。
八尾の懐石料理店(佑和)のお弁当やまちあるきとのセットプランもあります。

八尾プリズムホールと文学座が実施する
地域拠点契約事業

プリズムホールは優れた芸術に身近でふれ親しんでいたため、日本を代表する劇団である文学座と提携し、公演の実施はもとより演劇に関するワークショップや朗読の会など様々な事業を継続的に実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大状況に応じた
「感染拡大防止対策」を実施します。

アートでしなやかに
コロナ時代を
心豊かに生きる

詳しくはコチラ▶